

冬休みのお便り

23年 加藤由美子

12月の園便りで“友だちのために心をつかうということが出来る子どもたち”のことを書きましたが、では大人の私たちはどうかと自身に問わなければならないことを思います。本当の意味での大人は、身の回りの人を大事にして、尊重しあえる人間なのでしょうね。“人のために心を使うことが出来る大人”にならなければなりませんね。人のために心を使うことが出来る大人は、子どもにとってのよいお手本となります。子どもたちは大人をお手本として、同じようにしますから、幼児期に良いお手本に出会うことは、子どもがこれから生きていくためにとても重要な体験となります。私たち大人が子どもたちの前で、どういう生き方をしているかが問われます。物事を批判的にとらえて、ぶつぶつと不満を漏らすことに終始するか、物事を前向きに捉えてよりよい方向を求めていくか、ということまで、子どもが吸収していることを心の隅においておかなければなりませんね。大人の人間関係がよい関係であれば、やがて子どもたちが大きくなった時に同じようにいい人間関係を築くようになるのですから・・・

保護者の皆様が、子どもたちのために・・・保護者の皆様お互いのために・・・そして幼稚園のためにも（本当にありがたいことです）・・・と“人のために働かれるお姿”と“お互いを大切にしているいい関係”をたくさん拝見して、本当に素敵だな～と思いがちおりました。子どもたちも、お父さんお母さんのそういう姿を誇りに思っていたことと思います、みなさまのお姿は、『子どもたちへの何より尊いプレゼント』であると思います。

さて、クリスマス・お正月とお楽しみが続く冬休み、子どもたちの心に素敵な思い出として残るように心をつかってあげてくださいませ。

今年一年の皆様のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

皆様、どうぞ良いお年をお迎えください。

1月の主な行事

4日（水）本日から星の子開始です。ご利用ください。

10日（火）始業式です。 *降園は11:30分です。

11日（水）お餅つきの会です。 *降園は**12:00**です。

・箸とコップをお持たせ下さい。

12日（木）給食が始まります。

18日（水）誕生会です。 *降園は11:30分です。

21日（土）大学入試のため自由登園はお休みです。

24日～27日 個人懇談を行います。